

平成30年度 兵庫県立加古川東高等学校 学校評価 教職員(内部)評価結果

I 教育方針	校訓の「自治創造」、「明朗親和」にもとづき、未知の課題に対応しうる豊かな知識、教養を獲得し、多面的・客観的視野と思慮深さをもって、21世紀の地域・日本・世界が直面する課題を展望し、自己の良心と責任において、他者と協働しつつ課題解決に向けて行動・発信できるリーダーを育成する。					
II 学校経営の重点	1 理数科を柱に、将来の高大接続への展望を踏まえた教育の推進 2 生徒の個性の開発・伸張を図るとともに、道徳性の涵養・育成を図る教育の推進 3 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の継承と発展 4 普通科における「探求活動」の取り組み 5 学校評価の取組を更に進めるとともに、「開かれた学校」づくりの推進					
1 とてもそう思う 2 そう思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない						
		[重点]	評価1 (%)	評価2 (%)	評価3 (%)	評価4 (%)
総務広報	1	[重点] ・メールマガジン・ホームページの充実を図ることにより、情報発信のいっそうの強化を進める。特に、第3学区への広報活動をさらに充実させる。	61	38	2	0
	2	[重点] ・適切な情報を提供するとともに、要望・意見を聞き取り、PDCAによる学校運営の活性化に活かす。	36	53	11	0
	3	[重点] ・防災マニュアルの点検・見直しを進めることでさまざまな危機に対応できる体制を整え、家庭・地域・関係機関と情報を共有することにより、防災・危機管理意識を高めるとともに、教職員の指導力・実践力の向上を図る。	39	47	14	0
教務	4	[重点] ・生徒の実態に即したシラバスを作成し、シラバスに従った効果的な指導および評価を行う。	33	55	13	0
	5	[重点] ・公開授業や授業アンケート等、授業研究を行うことにより魅力的な授業づくりを進めるとともに、主体的・対話的で深い学びを通して生徒の思考力・判断力・表現力を養う授業づくりを工夫する。	53	45	2	0
進路	6	[重点] ・進路講演会やOB講演会の充実を図るとともに、キャリア研修の機会を設け、キャリア教育を推進する。	63	34	2	2
生徒指導	7	[重点] ・全教職員の共通認識のもと、生徒の規範意識の向上に取り組む。	19	56	23	2
	8	[重点] ・登下校時の通学マナーを向上させる。	14	53	25	8
	9	[重点] ・いじめ防止に関する推進体制を整え、未然防止、早期発見、早期対応に努める。	38	58	3	2
	10	[重点] ・自治創造、明朗親和の校訓のもと、生徒会活動を中心にあらゆる教育活動を通して生徒一人一人の自主性、自律性を育む。	53	42	3	2
SSH	11	[重点] ・普通科での「探求」や授業、校外学習等で、グループワークや発表など能動的・体験的な取組を増やすとともに、理数科のプログラムに普通科生徒が参加する機会を増やす。	67	31	2	0
	12	[重点] 理数科において、科学的に思考し主体的に課題に取り組む「研究力」とデータや推論過程を的確に示して第三者に意見を伝える「発信力」を育成する。	73	22	5	0
	13	[重点] ・理数教育の盛んな海外の高校と連携を取り、生徒間の交流を図る。	63	27	9	2
教育企画	14	[重点] ・1年「探求Ⅰ」、2年「探求Ⅱ」の円滑な実施 ・来年度に「向け、3年「探求Ⅲ」の準備を進める。	69	28	3	0
	15	[重点] ・人権ホームルームを中心に人権意識の向上を図り、主体的に差別の解消に取り組もうとする生徒を育てる。	59	33	8	0
	16	[重点] ・人権ホームルームの成果と課題を踏まえ、次回の人権ホームルームに活かす取組を行う。	56	34	8	2
保健	17	[重点] ・キャンパスカウンセリングに関する情報を提供し、計画的にカウンセリングを実施するとともに、個々の内容に対し、関係機関と連携しながら適切に対応する。	59	38	2	2
	18	[重点] ・関係各部署及び生徒会美化委員会と連携し、校内の安全管理と美化を図り、環境整備を推進する。	25	48	25	2
	19	[重点] ・救急法を身につけ、救急体制の確立を図る。	66	31	2	2
第1学年	20	[重点] ・自己の良心と責任において行動し、「自治創造」の意義を理解し、それを体現できる集団作りをめざす。 ・基礎基本を大切に、学習習慣と学習方法を身につけるように導く。 ・「探求」学習の意義を理解し、思考力、判断力、表現力、発信力を身につけさせる。 ・協働する機会を多くし、主体性、多様性、協調性を育む環境を整える。 ・人権意識を涵養し、正義感のもと行動し、共感力の高い生徒を育てる。	61	31	8	0
第2学年	21	[重点] ・自ら考え、自己の責任において自ら行動できる生徒たちの集団作りを目指す行事を企画・立案・実施する。 ・人権意識を高揚させ、正義感のもと行動できる生徒を育てるとともにお互いの能力が共鳴し合う集団作りを目指す。 ・進路実現を目指して、持続可能な学習が計画的にできるような環境を醸成する。 ・「探求」学習の実践を通して、思考力、判断力、表現力、発信力を身につけさせる。 ・協働する機会を多くし、主体性、多様性、協調性を育む。	59	36	5	0
第3学年	22	[重点] ・自己の良心と責任において行動し、「自治創造」できる集団をつくる。 ・卒業後の進路実現を目指す、計画的、継続的な学習を促す。 ・人権意識を涵養し、正義感のもと行動できる生徒を育てる。	52	45	2	2